

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|--|---|----|---------------|---|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 通常よりも広い訓練室を設けている。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 手厚く配置を行なっている。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | ○ | | 現在の施設では身体障害児の移動が困難であるが賃貸物件で施設の改修ができない。長期の事業計画内では移転の計画等がありその中で配慮していく。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 業務に関する情報は会議において全職員で共有し改善の為に検討を行っている |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | アンケートではないがヒアリングを定期的に行なっている |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | ホームページに記載 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | ○ | | | 必要に応じて適正に専門家に相談している。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 積極的に資格取得や外部の研修会への参加を行い職員の資質向上に努めている |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 毎日の記録を工夫し、法人独自のシートを作成しそれを計画に反映させている。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | | ○ | | 標準化されたアセスメントツールではなく事業所として行動観察をメインに独自のアセスメントツールを作成している。から判断するという方針をとり、その為のツールや手順を独自に開発し用いている。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | 直接のスタッフだけでなく、法人内のスタッフもプログラムを開発している。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 毎日の記録をもとに数ヶ月に一度皆をしを行なっている。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | | ○ | | 長期休暇にはプールを実施する等独自に行なっている |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 法人の特色である「自由でダイナミックなあそび」を中心としたサービスを行なっている。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | その場に居ないスタッフも記録等で利用者の体調等共有している。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | 独自に開発した行動観察の為のツールや手順で得られた記録をもとに全員で話し合い共有している。 |
| 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 独自に開発した行動観察の為のツールや手順で得られた記録をもとに全員で話し合い検証、改善を行なっている。 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|--|---|---|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 保護者や学校、相談支援センターと共有しながら行なっている。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか | ○ | | | 他の独自のメニューもあわせて行なっている。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 担当者が参加している。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | ○ | | | 連絡を受けたスタッフはノートや毎日の振り返り等において情報共有を行なっている。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | ○ | | | あまりそうした例がない。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | | 相談支援事業所を通じ必要に応じて情報の共有と見学、懇談を行なっている。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | | 相談支援事業所を通じ必要に応じて情報の共有と見学や定期的な情報交換を行なっている。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | 積極的に外部の研修会への参加を行い職員の資質向上に努めている |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | ○ | | | 施設内外で行なわれるWSや、関連施設での活動において交流を行なっている。長期の事業計画内では移転の計画等がありその中でも配慮していく。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | ○ | | | 法人内のいずれかのスタッフが参加し共有している。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 面談、送迎時等に情報交換を行なう。なるべくたくさんのスタッフが関わり情報把握につとめている。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | | ○ | 年数回イベントを通じて障害児者の生き方、親のあり方を考える機会を設けている。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 利用開始時や変更時において行なっている。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 随時相談を受け付けている。また声かけ等を行なっている。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | | | 保護者同士で交流する「ミドのづあ」、「かたりのづあ」を毎月開催し悩みや意見を交換する場を設けている |

| | | | | | | | |
|----|---------|---|--|---|---|--|------------------|
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | 毎日の振り返り、ノート等で共有し1週間に一度の全体ミーティング全体ミーティングで対応を協議している。 | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | 会報誌、通信誌、個別のお知らせを作成している。 | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | 更に肖像権や利用中に作ったものの著作権についての契約も行なっている。 | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | 送迎時の声掛け相談し易い雰囲気作りに努めている。 | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ○ | | | だれもが利用出来るスペースを運営し、住民と連携してイベント等も行なっている。 | |
| | 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | | ○ | | 必要に応じて適正に対応している。 |
| | | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | 月一回訓練を行なっている。 |
| 40 | | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | 積極的に外部の研修会への参加を行い職員の資質向上に努めている。 | |
| 41 | | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | | ○ | 身体拘束を行なわなくても迅速に移動等が行なえる様日頃より信頼関係を作っているため、計画に記載する必要がない。 | |
| 42 | | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | 保護者からの情報をもとに連携して対応している。 | |
| 43 | | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | 記録をファイルにしてスタッフ全員が共有出来る様にしている。 | |